

2018年4月17日

韓国における閉経後膣萎縮症治療薬 ospemifene に関する Pharmbio Korea 社とのライセンス契約の締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「当社」）は、当社の米国子会社 Shionogi Inc.（ニュージャージー州、以下「シオノギインク」）が、Pharmbio Korea Inc.（本社：韓国ソウル市、Chairman：BongGil Nam、以下「Pharmbio Korea 社」）との間で、閉経後膣萎縮症治療薬 ospemifene（一般名）の韓国における開発・販売に関するライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

本契約締結によりシオノギインクは ospemifene の韓国における開発および販売権を Pharmbio Korea 社に付与し、契約に基づく対価を得ます。Pharmbio Korea 社は本契約に基づき速やかに韓国での ospemifene の開発を開始いたします。

ospemifene は、当社グループが閉経後膣萎縮症に伴う性交痛の治療薬として FDA より承認を取得した唯一の経口選択的エストロゲン受容体モジュレーターで、米国では 2013 年 6 月より Osphena®の製品名で販売されています。欧州においては、当社の欧州子会社 Shionogi Limited（英国ロンドン）が、中等度から重度の閉経後膣萎縮症を適応症として 2015 年 1 月に販売承認を取得し、Senshio®の製品名で販売されています。

高齢化が進む韓国において、閉経後の女性人口が増加していくなか、エストロゲン製剤や漢方薬等の従来品に代わる閉経後膣萎縮症の安全かつ有効な治療薬が望まれていました。塩野義製薬は、韓国において産科婦人科領域に強みを持つ Pharmbio Korea 社とライセンス契約締結することにより、閉経後膣萎縮症でお困りの患者さまの治療ならびに QOL 向上に一層貢献できるよう、今後も努力してまいります。

以上

【Pharmbio Korea 社について】

Pharmbio Korea 社は 1999 年に設立されたソウル市に本社を置く、産科婦人科領域に強みを持つ製薬企業です。優れた製品開発能力を有し、設立以来、欧米発の医薬品を韓国内で迅速に開発・販売しています。詳細は http://www.pharmbio.co.kr/v4_new/en/main/main.php をご覧ください。

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885